

標準作型

○印・播種 △印・定植 □印・収穫

作 型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
露 地				○ → 播種 (育苗)	△ → ○ → (直播)	→						

栽培のポイント

高温性で寒さに弱いので、露地では晩霜害の恐れがなくなってから植付ける。
オクラは収穫期間の長い野菜なので、肥料不足にならないようにする。

- 品 種
- スターライト (武蔵野) : イボ果の少ない極早生品種。
 - グリーンソード (タキイ) : イボ果の少ない極早生品種。
 - ピークファイブ (サカタ) : 早生品種。
 - まるみちゃん (タキイ) : 収穫適期が長い早生品種。果実面が丸い。

畑の準備と元肥

耕土が深く、排水のよい場所を選ぶ。播種もしくは定植の 2 週間前までに苦土石灰 (10kg/a)、堆肥 (100kg/a) を施しておく。

- 播 種 (種まき)
- 直まきは地温の上がる 5 月中旬以降に播種する。
種皮が硬いので、水かぬるま湯に一昼夜浸漬し、水きり後播種するが、2 条まきで一穴に 5~6 粒で覆土は 1 ㌢程度とする (マルチで地温を上げておく)。
早まきしたい場合は、ポット等へ播種し、育苗しておく。
発芽温度 25~30℃で 1~2 日位・20℃で 3 日位・15℃で 9 日位で発芽する。
種まきの際、ポットに 4~5 粒の種をまいて発芽させ、本葉 1 枚の時に定植する。
ポットの土は壊さず、苗土ごと定植する。その際、深植えしないよう注意する。

- 間引き
- 間引きは本葉 2 枚で 2~3 本・4 枚で 1 本立ちと順序よく間引いていく。残す苗を傷めないようハサミで切り取る。
※ 栽植距離は、うね幅 50 ㌢位で株間 50 ㌢とする。

- 追 肥
- 間引き後と、花が咲いてから収穫が終わるまでの間は、15 日ごとに追肥をして肥料不足にならないようにしておく。うね肩にばらまき中耕し土寄せをする。
草勢が弱くなると、イボ果の発生原因になるので早目の追肥が必要。

- 収 穫
- 開花後、1 週間を目安として若い実を葉ごと切り取って収穫する。
収穫が始まったら摘葉を行う。実の下に 2~3 枚を残し、その下の葉はかきとる。収穫が遅れると実が硬くなるので適期収穫をする。

肥料施用量

(1 a 当たり使用量)

肥 料 名	ジシアン有機化成 S806 号	NK化成 2 号	施 肥 時 期
元 肥	15 kg		播種・移植前
追 肥		3 kg	間引き後・開花期